

(7) 新技術等の活用方針

- ・定期点検の効率化や高度化、修繕等の措置の省力化や費用縮減などを図るために新技術情報提供システム(NE T I S)や点検支援技術性能カタログなどを参考に活用を検討します。
- ・令和 5 年度～令和 10 年度において、施設の点検・修繕等に対し、新技術を活用することを目標とします。

(8) 費用縮減方針

- ・定期点検結果から得られた損傷状況をふまえて、予防保全段階(Ⅱ)判定箇所についても修繕等を検討することで、高コスト化を回避し、ライフサイクルコスト(LCC)の縮減を図ります。
- ・集約化・撤去、機能縮小の検討を行ったが、迂回路がある、利用者が少ないなど集約化、撤去等の可能性がある施設がないため、ライフサイクルコスト(LCC)の縮減に努めます。